



# 氷見線 豆知識



- 氷見駅の先には「能登延伸計画」があった  
氷見市は能登半島の付け根に位置し、地理的にも能登と深い関わりがあります。現在、氷見線は氷見駅で終着となっていますが、1922年（大正11年）公布の鉄道敷設法には「富山県氷見ヨリ石川県羽咋に至る」という計画路線が記載されていました。この計画が実現していれば、能登半島を横断し、現在の七尾線方面と接続していたかもしれません。
- 終着駅・氷見駅と駐車場  
氷見駅は1912年（大正元年）に島尾駅から延伸され開業し、旅客と貨物の取扱いは開始されました。蒸気機関車が運行されていた時代には、機関車の向きを変えるための転車台が設けられており、1969年（昭和44年）まで使用されていました。海越しにも留置線や側線の一部は確認できます。
- 海までの近さは国内有数  
越中国分駅と雨晴駅周辺には轟轟たる山並みの雄姿が点在し、線路のすぐ脇には富山湾が広がります。雨晴駅の海岸からは、海と山が一体となった美しい風景が広がります。越中国分駅からは、海まで徒歩約30分、雨晴駅からは徒歩約5分です。
- カーブは実は連続している  
カーブは鉄道車両が安全のために速度を落として走行する区間で、速い列車ほど曲線半径は大きく設計されます。氷見線は高速路線ではないものの、海に向けてカーブする様子が見られる区間が多く、その後も大きく曲線を描きながら海岸線に沿って走ります。カーブ区間には脱線防止の護輪軌条や補助レールが設置され、安全対策が施されていますが、海の景色に目を奪われ、足元の線路構造に気がないこともあるかもしれません。

氷見のまちなかは、裏面の観光マップをご覧ください！

氷見駅から約2km  
タクシーで約5分  
周遊バスで約12分  
徒歩で約20分

氷見のまちなかは、裏面の観光マップをご覧ください！

氷見市芸術文化館

朝日山公園

ふれあいスポーツセンター

水見市役所

布勢の円山 布勢神社

水見運動公園

水見広成公園

モメンタムファクトリー-Orii

大寺幸八郎商店

金屋町 (千本格子の家並み)

高岡御車山会館

高岡地域産業センター (ZIBA)

高岡大仏

## 氷見の四季の見どころ

**春**  
春の水見は花ざかり。朝日山公園や湊川沿いの桜をはじめ、藤波神社の藤など見どころ満載。散策や写真撮影にぴったりの季節です。  
4月17日には朝日山公園内にある千手寺ほか市街地周辺で、未婚女性が丸簾姿となり幸せな結婚を願ってお参りする「まるまげ祭り」が、また17日～18日には雨乞い成就を祝う奇祭「ごんごん祭り」が行われます。

**夏**  
7月に行われる氷見最大の夏祭り「祇園祭り」では、「イヤサー！」の掛け声とともに、神輿や太鼓台が町へ繰り出します。  
8月の「ひままつり」では盛大な花火が氷見の夜空を華やかに彩ります。  
夏の海岸沿いは、富山湾越しに立山連峰を望む絶景スポットです。穏やかな波と透き通る海で、海水浴やドライブ、釣りが楽しめます。

**秋**  
氷見の里山では、清らかな水と豊かな自然に育まれたツヤと粘りが自慢の氷見米や、甘く果汁たっぷりのりんご、栄養豊富な自然薯やハトムギなど、自然の恵みが実り、秋の味覚めぐりにぴったりです。  
朝日山公園ふもとの上野寺にそびえる国指定天然記念物の大イチョウは、高さ約24m、幹回り12mの、樹齢千年以上といわれる日本屈指の巨木で、黄金色に染まる姿は氷見の秋の象徴です。

**冬**  
冬の富山湾にやってくる極上の味覚「ひみ寒ぶり」。脂がのった身はとろけるような旨さで、まさに冬の正者。氷見魚市場で基準を満たしたものが「ひみ寒ぶり」を名乗れます。  
海辺に湧く「氷見温泉郷」は、美肌の湯として知られるナトリウム塩化物泉。冬の味覚と絶景を楽しむ後は、温泉で心も体もあたたまるとのひとときを。

## 氷見の観光 & 宿の情報

### 氷見市観光ポータルサイト きときとひみどっとこび

氷見市の観光スポットや宿泊施設、グルメ情報などをまとめたサイト。旬の見どころやイベント情報、モデルコースなど、氷見の魅力をもっと紹介しています。

## 氷見の二次交通 ご案内

- JR 氷見線**  
富山湾と立山連峰を望む絶景ローカル線。高岡駅から約30分で氷見駅へ。
- タクシー**  
スマホアプリで地図をタッチするだけ。スピーディーにタクシーが迎えに来ます。  
平和交通(株) 0766-91-0303
- レンタカー**  
1日4,000円で乗り放題 (※ご利用後のガソリン満タン費用は別) 市内に点在する魅力スポットも、レンタカーなら自由に巡れて快適です。  
0766-74-5250 (氷見市観光協会)
- レンタサイクル**  
電動アシスト自転車と普通自動車を買出し。  
※悪天候の場合は貸出中止  
※冬季期間中は貸出休止 (例年12月中旬～3月中旬)
- まちなか回遊促進モビリティ ヒミカ (HIMICA)**  
普通免許証で乗ることができる、4人乗り電気自動車。  
※悪天候の場合は貸出中止  
※12月から3月上旬まで 冬期休業
- 市街地周遊バス**  
氷見駅から漁港やまがロードなど、市街地観光地をめぐる便利な100円バス。お食事やお買い物に最適です。

## 高岡の二次交通や富山県内のルート検索アプリ ご案内

- 高岡市の公共交通**  
高岡市内の鉄道・電車の情報を網羅した公共交通マップです。
- 加越能バス**  
氷見と高岡をつなぐゆったり路線バス。沿線の景色を眺めながら気軽に移動できます。
- タクシー**  
高岡市内でのタクシー 観光タクシー 介護タクシー 貸切バスのご利用は、富山県で車両数 最大級の高岡交通におまかせください。  
高岡交通網 0766-23-1212
- MaaS アプリ my route (マイルート)**  
電車・バス・タクシーなどを組み合わせて最適ルートを検索できるアプリ。移動手段の予約や支払い、デジタル乗車券の購入もでき、観光をより便利にします。

- 最適な移動手段を検索  
カーシェア、レンタカー、電車、新幹線、バス、タクシー、サイクルシェアなど、マルチモータルに対応
  - 予約・支払いも  
電車・バスのデジタル乗車券の購入、タクシー・レンタカーの予約もスマホで完結
  - 富山の観光情報をゲット  
グルメ、温泉、アクティビティ、イベントなどの情報を発信
- とやまロケーションシステム**  
富山県内のバスや電車の運行状況をスマホでリアルタイムに確認できるシステム。現在地や時刻から最適なルートを検索でき、観光やお出かけに便利です。
- バス停・路線検索  
最寄りのバス停を地図で表示したり、バスの運行情報を確認
  - ルート検索  
出発地、到着地を指定して、最寄り駅から最寄り駅までの行き方を検索
  - My設定・宝箱機能  
Myコースを登録。観光情報や割引などの特典も。

- キハ車両の力強さ  
氷見線では、国鉄時代から活躍するキハ40形気動車が使用されています。通常は1両編成で運行されていますが、通学時間帯には3両編成となります。  
朝夕の高校生で高載になっているのも力強く乗車する姿は、この車両の大きな特徴です。新型車両が本格導入されるまで、氷見線の主力車両として活躍します。観光列車「ベル・モーターニューエーメル」もこの形式を改造した車両です。
- 高岡駅は、北陸本線より「先輩」の駅  
氷見線・城端線の原型は、中越鉄道として1877年（明治10年）に夏田（現在の新高岡付近）～城端が開業したことに始まります。1898年には高岡駅が中越鉄道の駅として開設され、夏田と高岡が接続しました。その後、北陸本線にある金沢～高岡が開業し、さらに伏木～高岡が開通、伏木から城端方面へ路線が整備されました。  
軽便鉄道だった伏木～氷見間を含めて、現在の氷見線と城端線が形づくられました。現在も、市街地を南北に迂回する氷見線・城端線に対し、北陸本線（現あいの風とやま鉄道）が直線的に交差しています。高岡駅では両線が交差し、城端線から氷見線へはスイッチバック方式で列車が進行します。
- 工場と結ばれた「産業の鉄道」  
氷見線は営業距離16.5km、全線単線・非電化で駅を結びます。高岡～伏木～氷見の区間は、それぞれ異なる役割で発展してきました。旅客輸送に加え、各地の工場と結ぶ専用線が整備され、越中国分・能町・伏木・氷見の各駅には貨物専用線が接続していました。特に往時の様子が見える能町駅では、貨物の新築線が分岐し、高岡貨物駅まで貨物列車が運行されています。能町駅構内には、往時の貨物ヤード跡や側線が残っています。